福島県原子力行政連絡調整会議専門委員の意見

平成１５年９月１日に実施した福島第一原子力発電所立入調査に同行いただいた福島県原子力行政連絡調整会議専門委員の意見は次のとおりです。

＜安全全般に心と気を配って＞

先に格納容器漏えい率検査を実施した号機については、封印する弁の数が多く当初封印作業ばかりに気を取られすぎたという話があったが、部分ばかり見てしまって逆に検査全体のレベルが低下することもあるので常に安全全般にも心と気を配っていただきたい。

＜応力腐食割れ対策に公開性と透明性を＞

応力腐食割れの解明については、必ずしも現場の環境で１００％検証されているわけではない。応力腐食割れの発生進展メカニズムの解明など国レベルでの研究がいくつか立ち上がるが、東京電力でもデータを積み重ね、公開して透明性を高める中で応力腐食割れ対策を進めていただきたい。

＜現場でのオープンな議論を＞

一連の不正問題は、職場内におけるオープンな議論が保証され、なされていればおこらなかったのではないか。東京電力でも「企業倫理遵守に関する行動基準」などが作成されたが、どこまで実践できるかが課題。将来のことを考えると、現場や第一線で働く皆さん、特に若い方々も含めてオープンに議論するとともに、その声をシステムとして汲み上げ、企業の行動として結実させていくよう、積極的に取り組んでいただきたい。